

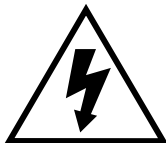


Relay™ TBP12

取扱説明書

See www.line6.com/manuals for Advance Guide

安全上のご注意



注 意

感電の恐れあり
キャビネットをあけるな



警告：火災や感電の原因になりますので分解・改造は厳禁。修理・調整は販売店にご依頼ください。

警告：火災や感電の原因になりますので本機を雨や水がかかるところには設置しないでください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無

線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。連絡先:

2.4 XX 8

ティアック株式会社
東京都多摩市落合1-47
〒206-8530
TEL: 042-356-9137



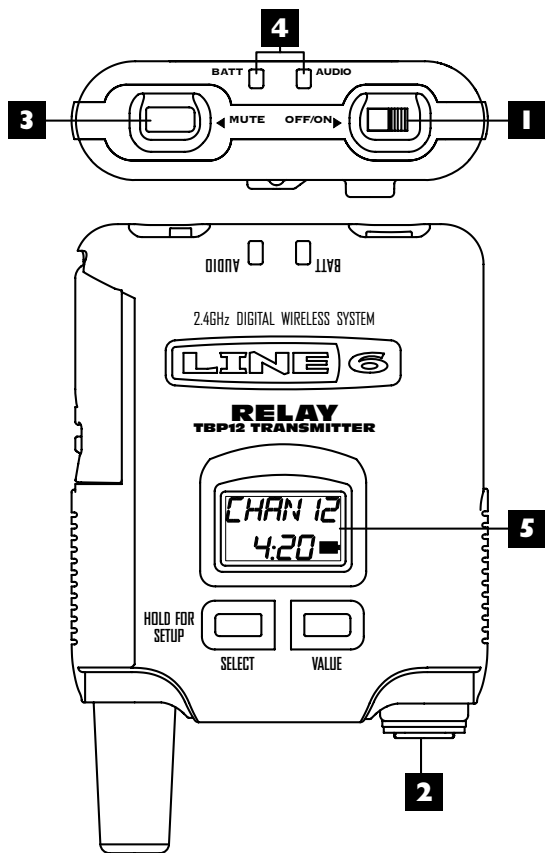
これらの安全上の注意事項を良くお読みください。これらの取扱説明書は大切に保管してください。



TBP12を使用する前に、以下に記載される操作に関する指示、及び安全上の注意事項で該当する項目をよく読んでください。

1. TBP12の取扱説明書に記載されている警告は全て守ってください。
2. トランスミッターには充電式でないAA乾電池のみを2個使用してください。
3. TBP12の取扱説明書に書かれている以外の点検、修理、部品交換等ほしないでください。本機が次のような状態で損傷した場合には修理が必要です：
 - ・ 本機の内部に液体が入ったり、異物が入ったとき
 - ・ 本機を雨天や湿度の高い場所で使用したとき
 - ・ 本機が正常に作動しなかったり、性能が著しく劣化したとき
 - ・ 本機が落下したり、外装が損傷したとき
4. 暖房器機や発熱する器機の近くに設置しないでください。
5. 本機に異物や液体が入らないように十分に注意してください。水に濡れる恐れのある場所、湿度の高い場所での使用や設置はしないでください。
6. 器機のケーブルを踏まないでください。ケーブルが挟まれたり曲がると損傷する恐れがありますので、ケーブルの上に物を置かないでください。特にケーブルの差し込み部分と本機に接続する先端部の取り扱いには、細心の注意を払ってください。
7. 電池の消耗を押さえるためにも、長時間使用しない場合はトランスミッターのスイッチをオフに切ってください。
8. 汚れがひどい時には、水気を強く絞った布で拭いてください。
9. 弊社により指定された付属品／アクセサリーのみを使ってください。
10. 大音量で長時間使用すると、難聴や聴力障害を起こすことがあります。常に安全な音量で使用することを心がけてください。

基本操作



1. **OFF/ONスイッチ** - スイッチをスライドさせてトランスミッターの電源をオン/オフします。

2. **入力** - ここに楽器を接続します。

3. **MUTE** - オーディオ信号をミュートさせるとき、またはキャンセルするときはこのボタンを押します。

4. **BATT LED** - 青 LED点灯= 高レベル, 赤 LED点灯= 低レベル, 赤 LED点滅= 残量わずか/乾電池を交換してください!

AUDIO LED - 緑 LED点灯= オーディオ信号入力あり

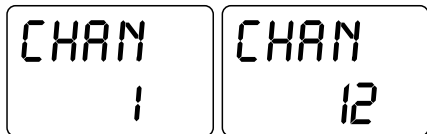
5. **LCD 画面** - どれかボタンを一つ押せば、LCD **バックライト**が直ちに点灯します。メインモードでは、以下のイラストのようなディスプレイが表示されます。



TBP12の送信をどのチャンネルに設定してあるかによって、**CHAN 1~CHAN 12**が上部に表示されます。トランスミッターがミュートされている場合にのみ、**MUTE**メッセージが表示されます。**POWER SAVE**は、パワーモードが**LO**に設定されている場合にのみ点灯します。**ロックアイコン**は、トランスミッターがロックされている場合にのみ点灯します。ロックされている場合、電源をオフに切ることとはできず、またエディットすることもできません。LCD の下部に表示される時計の数字は、現在使用している電池のパワーレベルで作動可能な残り時間を、時間と分で表しています。残り時間は20分単位で更新されます。**注意:** 操作開始直後の数分間は、正しい電池のデータが表示されないことがあります。電池の寿命が1時間以上ある場合は、**電池アイコン**がより明るく点灯します。電池の寿命が1時間を切ると、アイコンは点滅し始めます。

LCD セットアップ・ページ

セットアップ・ページ 1 - チャンネルの選択



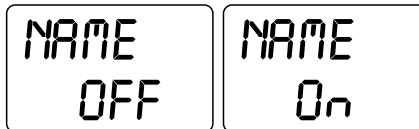
TBP12 からレシーバーへの送信を正しく行うためには、両方の器機を同じチャンネルに設定しなければなりません。TBP12から送信するチャンネルを変更する場合は、**SELECT**ボタンを2秒間押してセットアップ・ページ1に入ります。**VALUE** ボタンを短く押して、**CHAN 1~12**の中から選択します。選択したチャンネル番号が、1 から 12までの数字で画面右側に表示されます。変更した送信チャンネルは、**SELECT**ボタンを2秒間押したままにしたり(セットアップ・モードを抜ける)、15秒間どのボタンも操作しないでいると(セットアップ・ページの時間切れとなり)変更が無効になります。変更した後メイン・ページに戻って初めて実際の変更が有効となります。

セットアップ・ページ 2 - POWER セットアップ



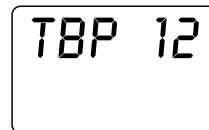
TBP12は、**Hi** (最大限のパフォーマンスを得るため)または**Lo**(電池寿命を延長させるため)とした2つのパワー・モードで操作することができます。Hiは、最高域や、不利なRF環境での使用に最適です。電池の寿命を引き延ばしたい場合や、信号域を範囲内に制限したい場合には、Loで使用してください。セットアップ・ページ1から、**SELECT**ボタンを一回押してセットアップ・ページ2へアクセスします。パワー・モードのHiとLoを切り替える場合は、**VALUE**ボタンを押します。初期設定は、**Hi**に設定されています。

セットアップ・ページ 3 - ネーム表示



セットアップ・ページ2から、**SELECT**ボタンを一回押してセットアップ・ページ4へアクセスします。ディスプレイの右側に示されるネームの表示を、**On**で表示させるか、**OFF**で表示させないかは、**VALUE** ボタンを短く押して切り替えます。このパラメーターでメイン・ページにチャンネル番号(NAME OFF)を表示する、またはカスタム・ネーム(NAME On)を表示するかを決定します。初期設定は、**OFF**です。

セットアップ・ページ 4 - セット・ネーム

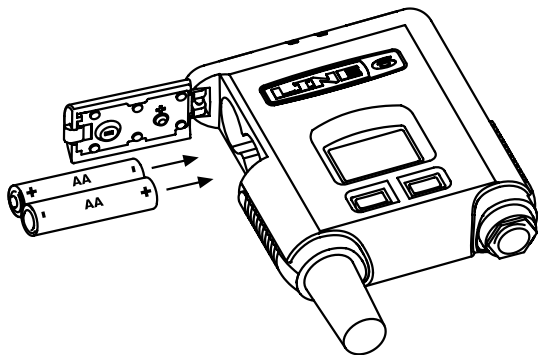


セットアップ・ページ3が **NAME On** に設定されている場合、LCD メイン・ページには TBP12と表示されます。このネームを最大6文字(アルファベット、数字、スペースまたはハイフン)でどんなネームにも変更できます。

セットアップ・ページ4は、NAME が**On**に設定されている場合にのみ表示されます。セットアップ・ページ3から、**SELECT**ボタンを一回押してセットアップ・ページ4へアクセスします。NameがOFFに設定されている場合、セットアップ・ページ4で**SELECT**ボタンを押すと、画面はメイン・モードの表示に戻ります。

VALUEボタンを押すと、現在点滅している文字桁の表示が次々と替わります。**SELECT**を押して文字を決定し、6つの文字スペース範囲内の次のスペースへ移動します。この手順を繰り返して自分のTBP12のネームをカスタマイズします。最後の桁を選択し終えましたら、**SELECT**ボタンを押してメイン・ページに戻ります。

電池の装着/取り外し



本体の横にある乾電池カバーを開けます。乾電池カバーの内側に正しい乾電池の向きが表示されています。

ロックアウト・モード

TBP12 のロックスイッチは、ロックされていない状態で工場から出荷されています。これは最初のセットアップに必要な調整を、ユーザー自身で行えるようにするためです。

セットアップが終わりましたら、**VALUE** ボタンと **SELECT** ボタンを2 秒間同時に長押しします。これにより本機はロックアウト・モードに入るため、偶然にミュートさせてしまったり、設定を変更したり、TBP12 を切ってしまう等の事故からフロントパネルのコントロールを守ることができます。これにより、LCDの左下の角に**ロック・アイコン** が表示されます。ロック・モードで**POWER**スイッチ、または**SETUP**ボタンのどちらかを押しすと、LCDに**LOCKED** が点滅表示されます。

本機がロックアウト・モードに設定されているときに TBP12 の電源を切る場合は、**VALUE** ボタンと**SELECT** ボタンを2秒間同時に長押しします。ロックを解除してから、**POWER**スイッチを2秒間長押しします。

トラブルシューティング

| 問題点 | 原因 | 解決策 |
|----------------|---|---|
| 音が出ない | システムの電源が入っていない、元となるソース器機の故障、チャンネルの選択に誤りがある、電池切れ | 電源 信号の送信源 (TBP12が使用中であることをレーザーが示しているか確認してください)、ケーブルまたは RF |
| 音が途切れる、または音が歪む | 元となるソース器機の故障、接続に誤りがある、複数のトランスミッターが1つの同じチャンネルに設定されている、トランスミッターが範囲を外れた、送信の間に金属の壁がある、現場に正体不明のRF源がある、チャンネル変更を行うために Lock モードを解除すると、レーザー側で一時的なシグナル・ミュートが発生します | 信号の送信源 (TBP12が使用中であることをレーザーが示しているか確認してください)、ケーブルまたは RF、Lock モード |
| 範囲不足 | アンテナの接続が正しく行われていない、または不足している、複数のトランスミッターが1つの同じチャンネルに設定されている、POWER セットアップが [Lo] に設定されている、現場に正体不明の RF源がある | RF、POWER セットアップを [Hi] に設定する、アンテナの位置を変える |

電源

TPB12とレーザーが十分な動力を得ているかどうか確認してください。トランスミッター側の電池の残量表示を確認し、必要であれば電池を交換してください。電池の寿命を示すインジケータは、アルカリ乾電池用に較正されていますが、AAタイプであればどれでも使用する事ができます。但し、電池の寿命は異なります。

ケーブル

接続やケーブル配線全てが、作動順序で行われているかどうかを確認してください。